

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	大学の海外留学支援制度	担当部局庁	高等教育局	作成責任者			
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当) 小林 洋介		
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定) 「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」(平成25年6月14日閣議決定) 「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定) 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)			
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進		主要経費	経済協力費			
施策	13-1 国際交流の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	我が国の高等教育機関が諸外国(地域)の高等教育機関と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき学生を派遣し、受入れる場合に、当該学生を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、我が国と諸外国(地域)との相互理解と友好親善を増進するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資する。 また、あわせて、諸外国(地域)の高等教育機関に留学する日本人学生等に対し、教育研究活動に必要な経費を支援することにより、国際的にも指導的立場で活躍できる優秀な人材の育成及び我が国の国際化・国際競争力強化に資することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、日本での外国人留学生の受入数については、年々増加し、2019年には約31万人となった。しかしながら、その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2022年には約23万人まで減少しており、世界各国が留学生の獲得にしのぎを削る中、日本においても留学生の受入数の改善が喫緊の課題として指摘されている。また、その他の計画等においても、様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成することが目標とされており、大学等における優秀な外国人留学生の受入れや日本人学生の留学生交流等を推進する必要がある。 (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」 令和2年5月1日現在の留学生数:279,597人(前年比32,617人(10.4%)減) 令和3年5月1日現在の留学生数:242,444人(前年比37,153人(13.3%)減) 令和4年5月1日現在の留学生数:231,146人(前年比11,298人(4.7%)減) (独)日本学生支援機構「日本人学生留学状況調査結果」 令和2年度協定等に基づく日本人学生留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況の合計:107,346人(前年比7,800人(6.8%)減) 令和2年度協定等に基づく日本人学生留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況の合計:1,487人(前年比105,859人(98.6%)減) 令和3年度協定等に基づく日本人学生留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況の合計:10,999人(前年比9,512人(640.0%)増)						
事業概要 (5行程度以内)	海外に派遣される日本人学生及び我が国に受け入れる短期留学生に対して、(独)日本学生支援機構を通じて奨学金を支給する。 ①大学院学位取得型・学部学位取得型(1年以上) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者で、「学士」、「修士」または「博士」の学位取得を目指し、1年以上の期間留学する者 ②協定派遣型(1年以内) 日本の高等教育機関に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき諸外国(地域)の高等教育機関等に1年以内の期間留学する者 ③協定受入型(1年以内) 諸外国(地域)の高等教育機関に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき我が国の高等教育機関に1年以内の期間留学する者 【補助率:定額補助】						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1368141.htm						
実施方法	補助						
補助率等	補助事業者:独立行政法人日本学生支援機構 補助対象:事業概要参照 補助率:全額支給						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	374	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	374	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲374	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	7,868	7,225	7,009	8,135	-
		執行額(G)	1,896	1,736	5,253	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	24%	24%	75%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	24%	24%	71%	-	-
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	国際交流・協力推進費		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。				
(目)	留学生交流支援事業補助金	7,281		※令和4年度は補正予算を令和5年度に繰越しており、令和5年度中に執行予定である。			
(目)	政府開発援助留学生交流支援事業費補助金	480		※令和4年度執行額については、額が未確定であるため、暫定額を入力。			
	その他	-	-	※重要政策推進枠 11,410百万円			
計(A)		7,761	-				

活動内容① (アクティビティ)		海外に派遣される日本人学生及び我が国に受け入れる短期留学生に対して、(独)日本学生支援機構を通じて奨学金を支給する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		日本人留学生及び我が国に受け入れる短期留学生への奨学支援	支援実績(派遣・受入れ) ※令和4年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	活動実績	人	3,716	2,219	-	-	-
				当初見込み	人	25,412	22,818	21,465	21,465	35,201
↓		効果発現の初期段階として、大学間の協定等に基づく日本人学生の海外留学に関し、奨学援助を着実に実施することで、大学等が把握している日本人学生の海外留学者数を増加させることにつながると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 15 年度	
		大学等が把握している日本人学生の海外留学者数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	大学等が把握している日本人学生の海外留学状況 ※令和4年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	成果実績	人	1,487	10,999	-	-	
				目標値	人	107,347	1,488	11,000	230,000	
				達成度	%	1.4	739.2	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		<p><成果実績> 独立行政法人日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」</p> <p><目標値の根拠> 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・中短期の留学者数(日本の大学等に在籍しながら留学している者):23万人</p>								
↓		「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、日本人学生の海外留学者数を全体で50万人にまで引き上げることを目指すことが提言されており、日本の大学等に在籍しながら留学をする者に対して奨学金を給付し、経済的な理由により留学を断念する者を減らし、奨学金受給者を増やすことで、当該目標の達成に寄与するため、大学等が把握している日本人学生の海外留学状況及び海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)の合計数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		日本人学生の海外留学者数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	大学等が把握している日本人学生の海外留学状況及び海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)の合計数 ※令和3年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	成果実績	人	44,196	-	-	-	
				目標値	人	169,336	44,197	-	380,000	
				達成度	%	26.1	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		<p><成果実績> 独立行政法人日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」 文部科学省調べ「海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)」</p> <p><目標値の根拠> 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・中短期の留学者数(日本の大学等に在籍しながら留学している者):23万人 ・日本人留学生における学位取得等を目的とする長期留学者の数:15万人</p>								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		学位取得目的で海外の大学等へ進学をする日本人学生に対して、(独)日本学生支援機構を通じて奨学金を支給する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		学位取得目的で海外の大学等へ進学をする日本人学生への奨学支援	支援実績(学位取得) ※令和4年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	活動実績	人	368	416	-	-	-
				当初見込み	人	412	412	505	600	722
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		効果発現の初期段階として、大学間の協定等に基づく日本人学生の海外留学に関し、奨学援助を着実に実施することで、大学等が把握している日本人学生の海外留学者数を増加させることにつながると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 15 年度	
		海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学) ※令和3年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	成果実績	人	42,709	-	-	-	
				目標値	人	61,990	42,710	-	150,000	
				達成度	%	68.9	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		<成果実績> 文部科学省調べ「海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)」 <目標値の根拠> 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・日本人留学生における学位取得等を目的とする長期留学者の数: 15万人								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、日本人学生の海外留学者数を全体で50万人にまで引き上げることが提言されており、日本の大学等に在籍しながら留学をする者に対して奨学金を給付し、経済的な理由により留学を断念する者を減らし、奨学金受給者を増やすことで、当該目標の達成に寄与するため、大学等が把握している日本人学生の海外留学状況及び海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)の合計数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		日本人学生の海外留学者数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	大学等が把握している日本人学生の海外留学状況及び海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)の合計数 ※令和3年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	成果実績	人	44,196	-	-	-	
				目標値	人	169,336	44,197	-	380,000	
				達成度	%	26.1	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		<成果実績> 独立行政法人日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」 文部科学省調べ「海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)」 <目標値の根拠> 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・中短期の留学者数(日本の大学等に在籍しながら留学している者): 23 万人 ・日本人留学生における学位取得等を目的とする長期留学者の数: 15万人								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容③ (アクティビティ)	海外に派遣される日本人学生及び我が国に受け入れる短期留学生に対して、(独)日本学生支援機構を通じて奨学金を支給する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	日本人留学生及び我が国に受け入れる短期留学生への奨学支援	支援実績(派遣・受入れ) ※令和4年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	活動実績	人	3,716	2,219	-	-	-	
			当初見込み	人	25,412	22,818	21,465	21,465	35,201	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度		
	我が国が受け入れる外国人留学生数 (各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数	成果実績	人	279,597	242,444	231,146	-		
			目標値	人	312,214	279,597	242,444	380,000		
			達成度	%	89.6	86.7	95.3	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<成果実績> (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 <目標値の根拠> 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・外国人留学生の数(高等教育機関及び日本語教育機関):38万人									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
	アクティビティの日本人留学生及び我が国に受け入れる短期留学生への奨学支援が直接、我が国が受け入れる外国人留学生数の増加につながるため。									

- (※1) 令和4年度実績を記入。
- (※2) 金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。
- (※3) 令和4年度執行額については、額が未確定であるため、暫定額を入力。

文部科学省
5,253百万円

(独)日本学生支援機構が行う我が国の高等教育機関へ留学する外国人留学生及び我が国から諸外国(地域)の高等教育機関へ留学する日本人学生等への支援事業に必要な経費を補助。

【補助金等交付】

A. 独立行政法人日本学生支援機構
5,253百万円

審査経費 121百万円 } を含む

我が国の高等教育機関が、諸外国(地域)の高等教育機関と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき1年以内の期間、諸外国(地域)の高等教育機関から我が国へ短期留学する者及び我が国の高等教育機関から諸外国(地域)の高等教育機関に短期留学する者、並びに諸外国の大学で学位を取得するために1年以上の期間、我が国から長期留学する者を支援する。

【奨学金】

【奨学金】

【奨学金】

【奨学金】

B.学生
(大学院学位取得型)
(276名)
559百万円

C.学生
(学部学位取得型)
(191名)
488百万円

D.学生
(協定派遣)
(9,440名)
2,757百万円

E.学生
(協定受入れ)
(4,189名)
1,327百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	奨学金	5,132	事業費	奨学金	4
	その他	審査経費	121			
	計		5,253	計		4
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	奨学金	4	事業費	奨学金	1
	計		4	計		1
	E.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	奨学金	1			
計		1	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本学生支援機構	7020005004962	奨学金及び審査経費	5,253	補助金等交付	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学生A	-	奨学金	4	その他	-	--	
2	学生B	-	奨学金	4	その他	-	--	
3	学生C	-	奨学金	4	その他	-	--	
4	学生D	-	奨学金	4	その他	-	--	
5	学生E	-	奨学金	4	その他	-	--	
6	学生F	-	奨学金	4	その他	-	--	
7	学生G	-	奨学金	4	その他	-	--	
8	学生H	-	奨学金	4	その他	-	--	
9	学生I	-	奨学金	4	その他	-	--	
10	学生J	-	奨学金	4	その他	-	--	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学生A	-	奨学金	4	その他	-	--	
2	学生B	-	奨学金	4	その他	-	--	
3	学生C	-	奨学金	4	その他	-	--	
4	学生D	-	奨学金	4	その他	-	--	
5	学生E	-	奨学金	4	その他	-	--	
6	学生F	-	奨学金	4	その他	-	--	
7	学生G	-	奨学金	4	その他	-	--	
8	学生H	-	奨学金	4	その他	-	--	
9	学生I	-	奨学金	4	その他	-	--	
10	学生J	-	奨学金	4	その他	-	--	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学生A	-	奨学金	1	その他	-	--	
2	学生B	-	奨学金	1	その他	-	--	
3	学生C	-	奨学金	1	その他	-	--	
4	学生D	-	奨学金	1	その他	-	--	
5	学生E	-	奨学金	1	その他	-	--	
6	学生F	-	奨学金	1	その他	-	--	
7	学生G	-	奨学金	1	その他	-	--	
8	学生H	-	奨学金	1	その他	-	--	
9	学生I	-	奨学金	1	その他	-	--	
10	学生J	-	奨学金	1	その他	-	--	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	学生A	-	奨学金	1	その他	-	--	
2	学生B	-	奨学金	1	その他	-	--	
3	学生C	-	奨学金	1	その他	-	--	
4	学生D	-	奨学金	1	その他	-	--	
5	学生E	-	奨学金	1	その他	-	--	
6	学生F	-	奨学金	1	その他	-	--	
7	学生G	-	奨学金	1	その他	-	--	
8	学生H	-	奨学金	1	その他	-	--	
9	学生I	-	奨学金	1	その他	-	--	
10	学生J	-	奨学金	1	その他	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	